第 19 回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会　開催要項

テーマ：戦跡と文化財を活かしたまちづくり「館山まるごと博物館」

１．主催：戦争遺跡保存全国ネットワーク
　　第 19 回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会実行委員会
　共催：ＮＰＯ法人安房文化遺産フォーラム
　後援：館山市、館山市教育委員会、館山市観光協会、千葉県歴史教育者協議会

２．趣旨：　2004 年の第8回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会から 10 年を経て、市民が主役の文化財保存運動は、館山海軍航空隊赤山地下壕跡を館山市指定史跡に、里見氏稲村城跡・岡本城跡を国史跡に、青木繁『海の幸』誕生の小谷家住宅を館山市指定文化財にと、成果を挙げてきました。現在は、戦跡をはじめ多様な文化遺産（ヘリテージ）を「館山まるごと博物館」として、まちづくりに活かす取り組みを民官協働で進めています。

　地域全体を「まるごと博物館」と見立てて、魅力的な自然遺産や文化遺産を再発見するとともに、市民の学習・研究・展示や保全活動を通じて、地域を活性化しようというまちづくりの手法は、「エコミュージアム」として 1971 年フランスにおいて提唱された概念です。自然環境や歴史的環境を学び、地域特性をよく認識・理解したうえで、市民が自らすすんで活動に参画することにより、地域社会が豊かになっていくだろうと考えられています。

　日本列島の頂点で太平洋に開かれ、古くから要衝の地である千葉県館山市は、幕末から台場が置かれ、明治期以降は東京湾要塞などの重要な軍事施設が作られてきました。戦争末期には本土決戦に備えて7万の兵が配備され、ミズーリ号の降伏文書調印式の翌9月３日にはアメリカ占領軍 3,500 名が上陸し、本土で唯一「4日間」の直接軍政が敷かれています。一方、海路を通じて多民族が交流・共生し、あるいは戦乱や震災を乗り越えて助け合ってきた地域像を学ぶこともできます。平和を願う人びとは 1948 年に館山ユネスコ協力会を設立し、現在にユネスコ精神を継承してきました。

　21 世紀を迎え、ユネスコは、対立や争いを創造的な対話によって解決していこうとする価値観を「平和の文化」と定義しました。これを受けて国連は 2000 年を「平和の文化国際年」と宣言し、ユネスコ「平和の文化」局長の D.アダムス氏は「ピースツーリズムを平和産業に」と提唱しました。多様な課題を抱える現代社会において、単に戦争がない状態を平和と捉えるのではなく、貧困や差別、環境破壊のない持続可能な社会を目ざすうえで、重要な考え方といえます。「戦後 70 年」にあたる本年、戦後日本のスタートの地となった館山市から「平和の文化」を心に刻み、市民が主役のまちづくりが各地に展開していく契機になることを願っています。

３．日時：２０１５年９月５日（土）～７日（月）

４．会場：（全体会）千葉県南総文化ホール小ホール　TEL0470-23-3111
　　（分科会）館山市コミュニティセンター　　TEL0470-22-1811
　　〒294-0045 千葉県館山市北条 740-1

５．現地実行委員会の役員
・実行委員長　　松苗禮子
・事務局長　　愛沢伸雄
・事務局長代行　　池田恵美子
・事務局：ＮＰＯ法人安房文化遺産フォーラム
　　〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館（0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp）
　　緊急連絡先：愛沢 090-9688-5799／池田 090-6479-3498

６．日程（全体会と分科会）

＊５日（土）

9:30～12:00	館山海軍航空隊赤山地下壕跡ガイドサービス	赤山地下壕跡
9:30～ 10:00～11:45	受付開始 映画『赤い鯨と白い蛇』上映会	南総文化ホール 小ホール （300 席） ※満席の場合は 大会議室で モニター中継
12:30 13:00 13:30 14:20 14:30 15:00 16:15	開場 開会セレモニー　語り「富田先生の青い目の人形」 開会挨拶　実行委員長　松苗禮子 歓迎挨拶　館山市長　金丸謙一 記念講演「平和の文化」と戦後 70 年の祈り　河正雄（ハ・ジョンウン）氏 （韓国光州市立美術館名誉館長・韓国宝冠文化勲章受賞） （休憩 10 分） 基調報告：戦跡全国ネット パネルディスカッション「戦跡と文化遺産を活かしたまちづくり」 ・千葉県館山市　愛沢伸雄（NPO安房文化遺産フォーラム代表） 池田英真（館山市商工観光課主任学芸員） ・沖縄県南風原町　吉浜忍（南風原町文化財審議委員） ・高知県香南市　松村信博（香南市文化財センター主監調査員） 閉会	
16:30～17:30	全国ネット会員総会 分科会打合せ	コミュニティ センター
18:00～20:00	全国交流会 ・歓迎行事　・各地の紹介　・第 20 回開催地紹介	南総文化ホール 大会議室

＊６日（日）

9:00～ 9:15～15:00	受付開始 分科会 ○第１分科会「保存運動の現状と課題」 ○第２分科会「調査の方法と整備技術」 ○第３分科会「平和博物館と次世代への継承」 ○特別分科会「米占領軍の館山上陸と直接軍政／証言者のつどい」 ・映像視聴：アメリカ占領軍の館山上陸シーン動画 ・映像視聴：NHK-BS歴史館 『それはミズーリ号から始まった～日本の運命を分けた2日間』 解説：佐野達也氏（番組制作者） ・証言：直接軍政と館山市民の交流 高橋博夫氏（元館山市教育長） ・報告：赤山地下壕建設のため退去させられた青山学院 水泳部合宿所　佐藤隆一氏（青山学院高等部教諭） ・証言：安房中学の勤労動員 本土決戦下の漁村（館山市布良） 川崎地区の空襲（館山市那古） 野島崎への艦砲射撃（南房総市白浜町）　…など	コミュニティ センター
15:15～16:00	閉会集会 ・各分科会の報告　・大会アピール　・閉会式	コミュニティ センター

＊７日（月）

9:00～15:00 9:00～12:30	フィールドワーク：Aコース フィールドワーク：Bコース	

７．プレイベント

○ 見学会　赤山地下壕ガイドサービス　５日（土）　9:30～11:45 現地集合・入壕料 200 円各自払い

○ 映画会 『赤い鯨と白い蛇』　　５日（土）10:00～11:45 南総文化ホール小ホール

館山の戦跡を舞台に制作された映画です。タイトルの「赤い鯨」は夕日を浴びた館山湾で訓練する特殊潜航艇を意味し、「白い蛇」は家の守り神と平和を象徴しています。 せんぼんよしこ監督は、千葉県立安房高女・安房南高校の卒業生です。 少女時代を館山で過ごした体験を重ねた役柄を香川京子が演じ、樹木希林や浅田美代子らとともに、戦後 60 年の館山を訪れる物語です。豊かな自然やエネルギッシュな「やわたんまち（八幡宮祭礼）」が、生命輝く美しいストーリーを織り上げています。　(2005 年制作)

８．現地見学（フィールドワーク：バスツアー）

○ Ａコース　　７日（月）9:00～15:00　　（ガイドブック・昼食付・定員 40 名）

・館山海軍航空隊跡　・アメリカ占領軍上陸地　・特攻艇「震洋」波左間基地跡
・平砂浦演習場跡（車窓）　・本土決戦の布良陣地（車窓）
・青木繁『海の幸』ゆかりの漁村（記念碑・小谷家住宅・布良崎神社）
・館山海軍砲術学校跡　・ハングル「四面石塔」（大巌院）

○ Ｂコース　　７日（月）9:00～12:30　　（ガイドブック付・定員 20 名）

・大房岬要塞群（砲塔砲台跡・弾薬庫跡・探照灯跡）　・特攻機「桜花」下滝田基地跡

９．参加費など

・一般 2,000 円（一日参加は 1,000 円）　大学(院)生：半額　　高校生以下無料
※ 事前登録の学生ボランティアは参加費免除・弁当支給
・全国交流会 2,000 円　　・弁当代 800 円（５・６日）
・フィールドワーク　Ａコース：2,500 円／Ｂコース：1,000 円

10．写真展示

○ 「戦後 70 年」展　　8月26日(水)～9月8日(火)　南総文化ホールギャラリー　　入場無料

○ 戦争遺跡保存全国ネットワーク・館山まるごと博物館　資料展
9月 5日(土)～6日(日)　館山市コミュニティセンター展示室　入場無料

○ 戦後 70 年企画収蔵資料展」戦時の館山」　7月11日(土)～9月6日(日)　館山市立博物館
入館料 300 円 （赤山地下壕との共通観覧券 400 円）

11．締切

・参加申込書と払込み　　８月１５日（土）
申込用紙はホームページ（新着情報）からダウンロードできます。http://bunka-isan.awa.jp/
郵便振替口座：00270-3-102723　名義：第 19 回戦跡シンポジウム館山大会
・分科会レポート発表　　申込：７月１日（水）／原稿：７月３１日（金）　⇒別紙参照

12．交通

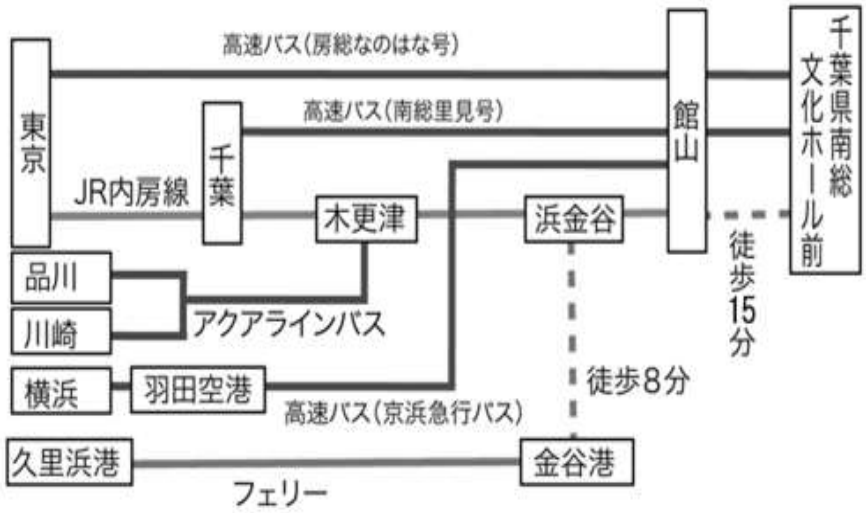
○ **東京駅** or **新宿駅**より、高速バス「房総なのはな号」 ほぼ 30 分毎に発車（館山駅まで所要約 110 分）
※直行便＝ 東京駅 9:20 発⇒南総文化ホール前 11:15 着／赤山地下壕へは東京駅 7:50 発⇒宮城 10:00 着

○ **千葉駅**より、高速バス「南総里見号」　ほぼ 30 分毎に発車（館山駅まで所要約 95 分）
※直行便＝ 千葉駅 9:20 発～南総文化ホール前 10:59 着

○ **横浜駅**より、高速バス「館山線」（所要約 110 分）　**横浜駅 9:00/10:00/発⇒館山駅 10:50/11:50 着**
※午後便は横浜駅 12:00/14:15/16:15/17:20/18:25/20:25 発⇒館山駅 14:10/16:25/18:05/19:30/20:35/22:15 着

○ **羽田空港**より、「空港リムジンバス」で木更津駅 or 君津駅（乗換）⇒JR 内房線館山駅下車
羽田空港 9:50/10:50 発⇒木更津 10:35/11:30 着（乗換）JR 木更津 10:54/11:54 発⇒館山駅 12:06/12:54 着
※午後のみ直行便あり＝ 羽田空港 12:30/14:45/17:50/18:55 発⇒館山駅 14:10/16:25/19:30/20:35 着

◎【館山駅から】徒歩 15 分 or タクシー5分 or 路線バス「南総文化ホール前」まで5分（徒歩3分）



12. 宿泊：各自で予約をしてください。

（下記宿舎は会場までの送迎サービス有。送迎不要の場合は館山市観光協会にて紹介）

宿　舎(50 音順)	電話(0470-)	住所(館山市)	ホームページ
＊安房自然村	28-1111	布良 660	http://awa-shizenmura.jp/
＊INN & CAFÉ ONEDROP	29-5108	波左間 37-2	http://www.one-drop.co.jp/
＊海の湯宿　花しぶき	29-0236	塩見 233-4	http://hanashibuki.com/
＊おさしみの宿　たろべ	29-1188	塩見 225	http://www.tarobe.net/
＊お宿　やまもと	22-2671	沼 974	http://oyado-yamamoto.com/
＊休暇村館山	29-0211	見物 725	http://www.qkamura.or.jp/tateyama/
＊館山シーサイドホテル	22-0151	八幡 822	http://www.tateyamaseaside.com/
＊富崎館	28-1125	布良 303	http://tomisakikan88.jimdo.com/
＊ホテルオーパヴィラージュ	28-1000	犬石 1687	http://www.opavillage.com/
＊ホテルアクシオン館山	29-2100	小沼 352	http://www.accion.co.jp/
＊民宿　つのだ	27-2755	正木 1202-2	http://www.awa.or.jp/home/tsunoda/
＊旅館　にい釜	22-0148	館山 1510	－
館山市観光協会	22-2000	http://www.tateyamacity.com/	

(2015.5.15)